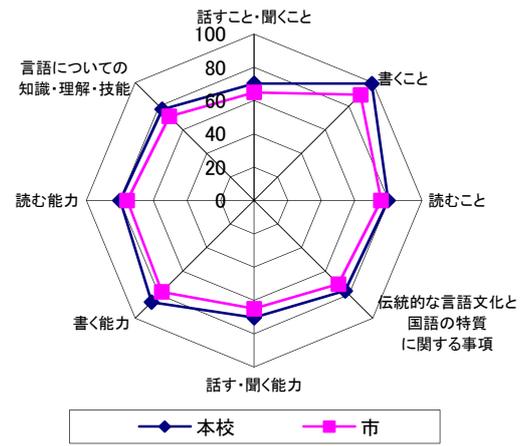


宇都宮市立海道小学校 第6学年【国語】領域別／観点別正答率

★本年度の市と本校の状況

		本年度		
		本校	市	参考値
領域別	話すこと・聞くこと	70.3	64.9	69.8
	書くこと	99.2	89.8	81.9
	読むこと	79.9	75.6	75.1
	伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項	76.7	71.0	75.0
観点別	話す・聞く能力	70.3	64.9	69.8
	書く能力	86.4	77.7	73.7
	読む能力	79.9	75.6	75.1
	言語についての知識・理解・技能	77.4	71.4	74.9

※参考値は、他自治体において同じ設問による調査を実施した際の正答率。



★指導の工夫と改善

○良好な状況が見られるもの ●課題が見られるもの

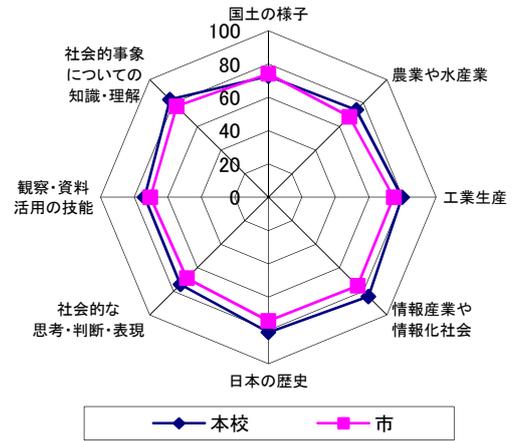
領域	本年度の状況	今後の指導の重点
話すこと・聞くこと	○本校の正答率は70.3%で、市の正答率に比べ5.4ポイント上回っている。	・朝の会におけるスピーチタイムなどの決められた形での発表の時間を確保するとともに、1つの話題から質疑応答を取り入れ、話を深めていく活動を設ける。 ・普段の授業の中で教師の話や友達の意見を聞き取れることを常に念頭において授業を行う。
書くこと	○本校の正答率は、99.2%で、市の正答率に比べ8.4ポイント上回っている。その内容は、自分の意見とその理由を区別して書く問題が100%である。	・継続的に日記指導を行ったり、行事の度に作文指導を行ったりと、文章を書く時間を多くし、書くことに慣れさせる。
読むこと	○本校の正答率は79.9%で、市の正答率に比べると4.3ポイント上回っている。物語の内容を読み取る問題では全て市の正答率を上回っていた。特に文と文の相互関係に注意して、登場人物の心情を読み取る問題では、正答率90.6%と市の正答率を12.7%上回っている。	・文章をじっくり読み、場面の様子などを深く読み取らせるために、物語に触れる機会を多くする。 ・筆者の主張を読み取る根拠となる言葉を押さえながら要旨を読み取る学習に取り組む。 ・段落相互の関係を接続語に着目して考えさせるなど、説明的文章の読解力の向上を図る。
伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項	○本校の正答率は76.7%で、市の正答率に比べ5.7ポイント上回っている。 ○言葉の学習については、「三字熟語の構成」「主語について」「尊敬語・謙譲語の使い方」の問題において、市の正答率を10%以上上回っている。 ●漢字の学習については、読みは市の平均を全て上回っているが、書きでは、「制限・富」の二字で市の正答率を下回った。	・継続して、6年間に学習した漢字を振り返らせるとともに、毎日の書き取りテストを行うことで身に付けさせる。 ・作文やノート、プリント等の提出物で漢字の間違えをチェックし正しく書けるようにする。

宇都宮市立海道小学校 第6学年【社会】領域別／観点別正答率

★本年度の市と本校の状況

		本年度		
		本校	市	参考値
領域別	国土の様子	72.7	74.1	72.5
	農業や水産業	74.2	68.4	61.6
	工業生産	79.7	74.7	68.2
	情報産業や情報化社会	84.4	75.3	74.0
	日本の歴史	81.3	74.4	69.3
観点別	社会的な思考・判断・表現	74.1	68.7	64.2
	観察・資料活用 of 技能	73.8	70.3	68.1
	社会的な事象についての知識・理解	83.0	77.3	72.4

※参考値は、他自治体において同じ設問による調査を実施した際の正答率。



★指導の工夫と改善

○良好な状況が見られるもの ●課題が見られるもの

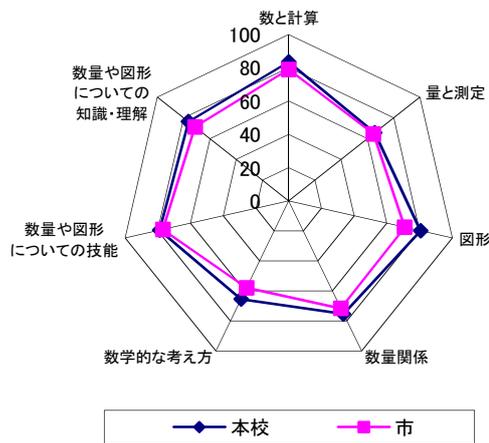
領域	本年度の状況	今後の指導の重点
国土の様子	<ul style="list-style-type: none"> ●本校の正答率は72.7%で、市の正答率に比べ1.4ポイント下回った。 ○日本の国土に関する問題では、日本海側の気候のグラフについて、該当する地域を指摘する問題以外では、全て市の正答率を上回った。 	<ul style="list-style-type: none"> ・日常的に地図帳を活用することで、地図帳を活用する力を育てるとともに、日本の細かな地形や位置について名称を覚えさせる。 ・資料から社会的な事象を調べたり、考えたりする指導をより多く行い、思考力・判断力を育てる。
農業や水産業	<ul style="list-style-type: none"> ○本校の正答率は74.2%で、市の正答率に比べ5.8ポイント上回った。 ○食料生産に関する地図を読み取る問題の正答率では、84.4%で、市の正答率を12.4ポイント上回った。 	<ul style="list-style-type: none"> ・日常的に、日本の食料問題に関するニュースを取り上げ、考えさせるようにする。 ・日本の農業や産業についての知識の確認をし、定着を図る。
工業生産	<ul style="list-style-type: none"> ○本校の正答率は79.7%で、市の正答率に比べ5ポイント上回った。 ○工業生産の問題では、すべて市の正答率を上回った。 	<ul style="list-style-type: none"> ・日常的に、日本の工業生産に関するニュースを取り上げ、考えさせるようにする。 ・日本の産業についての知識の確認をし、定着を図る。
情報産業や情報化社会	<ul style="list-style-type: none"> ○本校の正答率は84.4%、市の正答率に比べ9.1ポイント上回った。 ○情報産業や情報化社会の問題では、すべて市の正答率を上回った。 	<ul style="list-style-type: none"> ・日常的に、情報産業や情報化社会に関するニュースを取り上げ、考えさせるようにする。 ・情報産業や情報化社会についての知識の確認をし、定着を図る。
日本の歴史	<ul style="list-style-type: none"> ○本校の正答率は81.3%で、市の正答率に比べ6.9ポイント上回った。 ○歴史では、鎌倉時代から室町時代に関する問題以外は、すべて市の正答率を上回った。 	<ul style="list-style-type: none"> ・日本の歴史についての知識を確認し、定着を図る。 ・疑問の解決から始まり、疑問で終わるような授業を展開することで、授業の終末の疑問は、自分で調べて次時の学習に生かしていこうとする学習姿勢を身につけさせる。

宇都宮市立海道小学校 第6学年【算数】領域別／観点別正答率

★本年度の市と本校の状況

		本年度		
		本校	市	参考値
領域別	数と計算	83.5	79.0	78.9
	量と測定	65.6	64.6	66.2
	図形	80.6	70.9	77.8
	数量関係	75.3	71.6	66.6
観点別	数学的な考え方	65.5	57.8	54.8
	数量や図形についての技能	78.8	76.9	75.2
	数量や図形についての知識・理解	76.4	71.3	75.5

※参考値は、他自治体において同じ設問による調査を実施した際の正答率。



★指導の工夫と改善

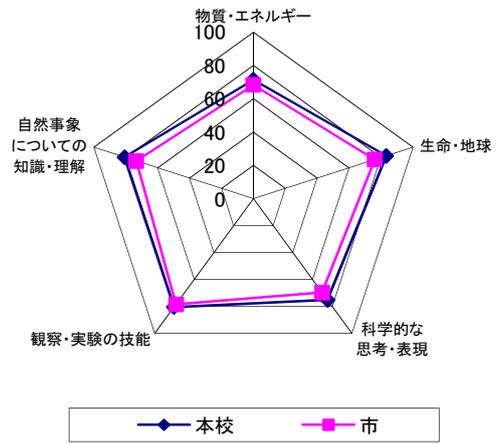
○良好な状況が見られるもの ●課題が見られるもの

領域	本年度の状況	今後の指導の重点
数と計算	○本校の正答率は83.5%で、市の正答率と比べて4.5ポイント上回った。 ○図を使って、分数の除法の文章題に合った式を選ぶ問題では、正答率が75%で、市の正答率を22.8%上回った。	○繰り返し学習を行い、計算力を高める。 ●文章題に関しては、図や数直線などを活用して問題の意味をしっかりとらえさせてから解答を求めさせるようにする。
量と測定	○本校の正答率は65.6%で、市の正答率と比べて1ポイント上回っている。 ○台形の面積を求める問題では、正答率が93.8%と市の正答率を12.3ポイント上回った。 ●単位量当たりの値を求める式の問題では、正答率が28.1%で市の正答率比べて1ポイント下回った。	○単位量当たりの値段を求める学習では、数直線を書いてから式を立てるなど、求めているものを明確に理解させる。 ○学年のまとめの学習をする際に、平均や単位量当たりの問題などの基礎を確認するとともに、理解させる。
図形	○本校の正答率は80.6%で、市の正答率に比べて9.7ポイント上回った。 ○「平行四辺形について線対称や点対称」「五角形の内角の和」「円周」に関する問題では、市の正答率を10ポイント以上上回った。	○具体物を活用し、既習内容の図形の学習を確認し、定着を図る。 ○円周を求める問題や多角形の内角の和を求める問題をドリルやプリントで反復練習して定着を図る。
数量関係	○本校の正答率は75.3%で、市の正答率に比べて3.7ポイント上回った。 ○「割合と比」では、比較量を求める問題と比を使って身長を求める問題では、市の正答率を10ポイント以上上回った。	○比例の関係にある2つの数量の変化を表にまとめてから式に表すなど、基礎を確認するとともに理解させる。 ○学年のまとめの学習をする際に、文字の式の問題などの基礎を確認するとともに、理解させる。

宇都宮市立海道小学校 第6学年【理科】領域別／観点別正答率

★本年度の市と本校の状況

		本年度		
		本校	市	参考値
領域別	物質・エネルギー	71.4	68.3	68.1
	生命・地球	83.3	76.0	73.8
観点別	科学的な思考・表現	75.1	69.7	68.0
	観察・実験の技能	80.5	78.4	77.0
	自然事象についての知識・理解	80.7	73.4	73.9



※参考値は、他自治体において同じ設問による調査を実施した際の正答率。

★指導の工夫と改善

○良好な状況が見られるもの ●課題が見られるもの

領域	本年度の状況	今後の指導の重点
物質・エネルギー	○本校の正答率は71.4%で、市の正答率と比べると3.1ポイント上回った。 ○科学的な思考・表現に関する問題の正答率は75.1%で、市の正答率に比べ、5.4ポイント上回った。	●もののとけ方についての知識を確認し、定着を図る。 ●日常における事物・現象を学習と関係づけることで実感を伴った理解ができるようにする。
生命・地球	○本校の正答率は83.3%で、市の正答率と比べると7.3ポイント上回った。知識理解を問う問題の正答率は80.7%で、市の正答率に比べて、7.3ポイント上回った。 ○「植物のつくりとはたらき」「動物のからだのつくりとはたらき」では、すべての問題において市の正答率を上回った。	●もののとけ方についての知識を確認し、定着を図る。 ●観察や実験などを通して、自然の事物・現象と触れ合い、理解を形づくっていくことを大切にする。